

森林技術センターこの1年

1 ドローン (unmanned aerial vehicle、UAV) 活用ための研修

県職員が森林調査や災害調査など行う際にドローン (UAV) が活用できるようにするため、令和元年7月29日(月)に森林技術センターと県立甫喜ヶ峰森林において、操作方法や関係法令などの基礎知識を学ぶ研修を開催し、13名が受講しました。

参加者の関係法令への理解が進むとともに、操作実習では、参加者の操作体験が進むにつれ、目に見えて操作が上達しました。



2 「ヒノキ CLT による屋根構造」公開実験

令和元年9月13日(金)に当センターが取り組んでいるヒノキの新たな用途開発の一環として、「ヒノキ CLT による屋根構造」の公開実験を開催しました。

ヒノキの意匠性と優れた強度性能を併せ持つ、全国初の試みであるヒノキ CLT パネルの用途、性能が広く伝わるよう、建築設計・木材産業の企業や国・県・市町の行政関係者の方々28名に参加していただきました。



3 高知県林業試験研究外部評価会

令和元年9月20日(金)に当センターの試験研究課題について、外部の有識者等による外部評価会を実施しました。この評価会は、次年度以降の試験研究に反映させることを目的として、研究期間の中間で行っています。

本年度は、「ウバメガシ林の再生に関する研究」、「竹林の有効利用に関する研究」、「高知県産ヒノキの効率的利用に関する研究」の3課題について、4名の評価委員から助言及び評価を受けました。



4 第2回 もくもくエコランド 2019 森林環境学習フェア

森林保全への参加の促進や木材利用が森林の再生に寄与することを広く県民に理解していただくため、高知県ともくもくエコランド実行委員会の主催により「第2回もくもくエコランド 2019 森林環境学習フェア」が、10月26日(土)、27日(日)に高知市中央公園で開催され、当センターも出展しました。

当センターは、H型集材架線の仕組みがわかりやすく学べる「森のUFOキャッチャー」の体験コーナーやパネル展示を行いました。



5 森林技術研究成果セミナー

令和元年11月13日(水)に、森林・林業・木材産業関係者や林業普及指導員等を対象にしたセミナーを高知城ホールで開催し、56名が受講しました。

「大型製材工場に対応した原木の供給と皆伐後の更新推進に関する研究」、「住宅における厚板の用途開発に関する研究」、「高知県産ヒノキの効率的利用に関する研究」の口頭発表などを行い、研究成果の内容や活用方法等について解説しました。



6 WOOD コレクション (モクコレ) 令和元年

令和元年12月10日(火)～11日(水)に日本各地と東京都が連携した木材製品展示会「WOOD コレクション (モクコレ) 令和元年」が、東京都主催で全国41都道府県の木材関係事業者・団体等が参加し東京ビッグサイトで開催されました。

高知県関係では、土佐材流通促進協議会・高知県木製品工業連合協同組合・協同組合ドライウッド土佐会・四万十ヒノキブランド化推進協議会等が出展し、当センターも土佐材の流通・販売の支援を行いました。

